

タンチョウの故郷 仙境扎龍

- 1 自治体名：中国黒龍江省
- 2 発表者名：張 恩栄 (ZHANG En Rong) 肇東市第十一中学校 1 年生
- 3 活動場所：扎龍 (ジャロン) 国家自然保護区

4 発表要旨：

(1) 扎龍について調べよう

① 扎龍湿地の紹介

扎龍国家自然保護区は中国最大の湿地で、中国黒龍江省チチハル市の南東 30 キロメートルのところに位置し、敷地面積 21 万ヘクタールである。アジアで一番目、世界で四番目大きい湿地で、世界最大の葦湿地でもある。中国でははじめての国家級自然保護区で、世界重要湿地名鑑に入れられている。

② 扎龍——鳥の天国、中国のタンチョウの故郷

年配の方の話によると、20 世紀 80 年代の時に、扎龍湿地はすでに鳥の天国になっていたそうだ。現在、全世界ではわずか 2000 羽余りのタンチョウが野生に棲んでいて、その大部分は中国の東北地方、モンゴルの東部、ロシアのアムール川の東岸、北朝鮮、韓国と日本の北海道に集中していると言われている。扎龍湿地にはおよそ 400 羽余りのタンチョウが生存していることから、扎龍はまさに中国のタンチョウの故郷と言えるだろう。

(2) タンチョウの群れの飛翔ショーを楽しむ

(3) グループディスカッション：「鶴城」にとって、扎龍湿地の機能と価値

- ・ 汚染の分解——大型污水处理場に匹敵する。
- ・ 気候の調節——周辺都市は恩恵を受ける。
- ・ 地下水の補充——人々に幸せをもたらす。
- ・ 豊かな天然資源——巨大な生物倉庫
- ・ 希少種の保護——生態系のバランスが保たれる。

(4) みんなの感想と今後の予定